

ふろあやの会館だより

アートホール

市民の文化の拠点として今年オープンしたふるさと会館では、生活のゆとりを培い、身近に芸術を鑑賞できる場としてアートホールを活用していただいています。

アートホールでは開館以来、「増田誠常設展」を始め、「開館記念増田誠特別展」、「ふるさとを描いた増田誠作品展」など郷土の誇る画家、名誉市民第一号である増田誠画伯の作品がいつでも市民の皆様にご鑑賞していただけるよう展示会を開催しています。

このほか、河口湖町出身で江戸派の谷文晁の流れを汲む「渥美美峰展」、油彩で大翔会会員の相川泰一さんの「チャリティ個展」や、二科展入選十六回を果たした秋山村議の「佐藤拳一個展」などを開催し、会場を訪れた多くの皆様は、芸術の素晴らしさを堪能していただいています。

なお、個展等の開催をご希望の方は、ふるさと会館事務室（☎45-4111）までご連絡をお願いします。



今月の予定

11月1日～21日
「増田誠特別展」

リトグラフ「旧約聖書シリーズ」、ギリシア神話シリーズ」

11月23日～12月1日
中野宗夫「二人展（絵画）」

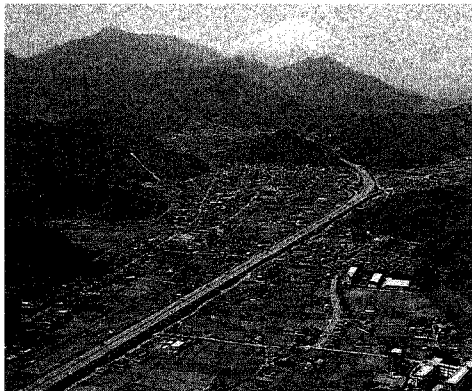
開館時間午前9時～午後4時30分
※11月21日は午後4時まで

将来に向けてのまちづくり

都留市都市整備

基本計画の策定に着手

わたしたちのまちは、中央道の四車線化、E電の乗り入れ等に加え、山梨リニア実験線の建設が決定され、一躍首都圏からの注目を集めています。それに伴い急激な開発等が予想され、現在のままでも遅れている都市的機能、つまり住宅・道路・下水道等及び環境面で多くの問題をかかえることになりました。そこで市では、将来に向けての理想的なまちづくりをめざし、都市整備基本計画の策定を進めています。これは市の総合計画を基本に整備を進めていこうとするもの



で、道路、公園、土地利用、各種施設の根本的な整備の見直しを図る計画が盛り込まれています。すでに専門の民間業者に委託して、六月から土地利用状況や住宅

環境などの現況調査に入り、また若年層（三〇～四〇代）を対象としたまちづくりアンケートを実施しました。

これからのスケジュールとして住民代表による「まちづくり研究会」を発足させ、各種協議に参加していただき、また昨年、一昨年と二カ年にわたり活動した「都留市新しいまちづくり推進協議会」の提言書や今回のアンケートの結果なども十分検討させてもらい、市民の要望や意見を計画に生かして行く予定です。

こうして、今年度、来年度と二カ年をかけた計画書を策定しますが、途中経過を広報で随時市民の皆様にお知らせします。

点字友の会に「感謝状」

点字友の会は、福祉のまちづくり事業の一環として実施された点字講習会の卒業生十名程で、視覚障害者の社会参加と福祉の向上を目的に昭和五十九年度に会を発足しました。以来、広報・議会日より、福祉のまちづくりだより・図書目録等の点字で視覚障害者に好評を得ています。こうした地道な活動が認められ、点字制定一〇〇周年を記念し、山梨県視覚障害者福祉協会より、感謝状が贈呈されました。これを機に今後点字だけでなく、視覚障害者の要望等を取り入れ、短歌等の作品を作者の意

図のとおり、文書に表現できればと考えています。しかし、現状の会員数では思うように事業を実施できません。ボランティア活動に興味のある中学生、高校生の皆さん、こうした活動に参加してみませんか。私たちの会に入り一緒に活動してみたいとお考えの方は左記にご連絡ください。

連絡先 事務局 青池恵津子

☎(43) 0299

(43) 4341

(勤務先)

八期 in つる91

い報告

九月一日、お八期の日、今年十二回目を迎えた八期 in つるが行われました。

「みつめなおそう都留市の自然」をテーマに、十二団体の参加があり、会場となった谷一小グラウンドは大いに盛りあげられました。

市当局、市民の皆さんのご協力、ご支援に厚く御礼申し上げます。会計報告は左記の通りです。

なお、来年に向けての準備が始まっています。あなたも一緒にまつりをつくっていきませんか？
連絡先 小宮山

☎(45) 4607

会計報告

収入	
市補助金	二五〇、〇〇〇円
寄付金その他	四六五、六九五円
計	七一五、六九五円
支出	
舞台、照明、音響、諸雑費等	計 七一五、六九五円

税の相談は

コンピューターにおまかせ
タックスアンサー増設

これまで東京へ電話しなければ利用できなかったタックスアンサー（税務相談自動回答システム）が甲府にも増設されました。

☎0552(27) 1177